

能登地震被害相次ぐ

県
本
転倒などでけが
停電、断水、交通障害も

石川県能登地方で震度7の地震を観測した1日、県内でも広い地域で強い揺れがあり、被害が相次いだ。長岡市で震度6弱を観測したほか、震度5強が新潟市中央区、南区、西区、西蒲区と三条、柏崎、見附、燕、糸魚川、妙高、上越、佐渡、南魚沼の各市と阿賀町、刈羽村。震度5弱が新潟市北区、東区、江南区、秋葉区と小千谷、加茂、十日町、五泉、阿賀野の各市と出雲崎町。

県災害対策本部によると、倒した糸魚川市の女性(89) 午後8時現在、避難中に転 少なくとも4人がけがを

するなどした。

これとは別に、上越市災害対策本部によると、上越市中門前の90歳の高齢者が地震発生のショックで心肺停止した。長岡市危機管理防災本部によると、午後8時半時点の市内の人的被害は4件で、いずれも軽いと思われる。

柏崎市では一時、約千人が避難した。十日町地域消防本部と十日町市によると、松之山松口で作業所1棟が倒壊した。

新潟市によると、中央区、西区、西蒲区では電柱が傾いたり、道路が陥没したりし、「液状化現象」が起きたとの通報が相次いだ。

県によると上越市と柏崎

市の国道8号が土砂崩れなどにより、通行止めになった。ブロック塀が倒れるなどの建物被害や断水、停電も各地で発生している。交通機関にも影響が出た。JR東日本は、上越新幹線の新潟―越後湯沢と北陸新幹線の長野―金沢で地震後、運転を見合わせた。

新潟空港事務所によると、新潟空港発着は国内線16便、国際線2便が欠航。日本道路交通情報センターによると、北陸道、関越道、磐越道、上信越道、日東道のいずれも上下線で区間通行止めとなった。佐渡汽船は一部に遅れが発生し、最終のカーフェリーを欠航した。



道路の陥没で身動きできなくなった乗用車。路面は水が噴き出していた。1日午後7時21分、新潟市西区鳥原